

# 北朝鮮拉致問題をどう教えるか？ ～拉致問題の授業づくりを考える

令和7年 2月1日（土） 14：30～16：30（開場14：00）

会場：文京区民センター 2階A会議室 東京都文京区本郷4-15-14

参加費：1000円

〈前半の部〉

基調報告 皿木喜久（つくる会副会長・元産経新聞論説委員長）

実践報告 磯公啓（東京・公立中学校教諭）

〈後半の部〉

パネルディスカッション

\*司会 伊勢雅臣（歴史人物学習館理事長）

\*パネラー 渡邊尚久（千葉・公立小学校校長）

磯公啓（東京・公立中学校教諭）

藤岡信勝（つくる会副会長）



皿木喜久



磯公啓



伊勢雅臣



渡邊尚久



藤岡信勝

未だに帰国していない政府認定の拉致被害者は17名ですが、拉致の可能性のある日本人は約900名と言われています。拉致問題はいま現在も進行している最悪の「人権問題」であり「国家主権侵害」事案です。これは、未来の主権者たる日本の子どもたちに教えるべき重要な学習内容であると言っていいでしょう。この重要な拉致問題をどう教えるべきか—中学校での授業実践報告をもとに参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

新しい歴史教科書をつくる会／NPO法人歴史人物学習館（共催）

〒112-0005 東京都文京区水道2-6-3-203

TEL：03（6912）0047 FAX：03（6912）0048

MAIL：konshin@tsukurukai.com

講演会への事前のお申し込みは不要です。お問い合わせは電話・FAX・メールで上記ま